

## 八甫などの既存施設は有効利用を！

平成29年3月に「ごみ処理基本計画」が策定され、菖蒲清掃センターの場所に久喜宮代清掃センター、八甫清掃センターを統合するごみ処理施設建設計画が進んでいます。平成32年度頃に工事に着手し、平成35年度稼働を目指しています。

現在、施設整備の基本構想を策定中で、焼却施設は1日最大75トン焼却できる施設2基を作り、1日150トン処理できる計画です。（し尿処理は含まず）当初は、現菖蒲清掃センターを解体して建設する計画でしたが、解体時にごみ処理が難しくなることが判明し、焼却を継続しつつ新たな場所に建築する必要が出てきました。

### 新焼却場建設はコンパクトな施設を



現在の菖蒲清掃センター

新たに1.6ヘクタールを購入します。6月議会にその土地購入費442万2千円が計上されました。

### 公園予定地は縮小し

#### ごみ焼却場は拡大

拡張する焼却場建設予定地は、となりに計画中の「本多静六記念、市民の森・緑の公園整備事業」の土地であった為に公園予定地が縮小するなど、計画も大幅変更となります。

市では、これから検討委員会においても一度協議をして、平成29年度中に基本計画を策定するとしています。

### 党市議団は提案します

- ① ごみ処理基本計画は徹底した分別と住民参加で減量を推進する。
- ② 関連する地域住民には丁寧な説明会開催の実施。
- ③ 菖蒲センター1箇所への集中は、収集業務など効率が良い。現状の処理施設、八甫センターの施設は引き続き有効活用する。
- ④ 減量目標を後退させず焼却炉は小型化をめざす。
- ⑤ 「3R」を市民とともに進める。

# 分別の徹底で燃やすごみを減らし焼却炉は小型化へ

## 上下水道部で会計処理ミスが発生！

◆市から各会派に対し、「年度最終の3月検針分の農業集落排水使用料を、本来なら一般会計の口座に振り込むべきところ、誤って下水道使用料と共に下水道事業会計に振り込んでしまい、ミスがそのまま決算として確定してしまった」との報告がありました。

それだけなら、入金先ミスとして処理をやり直せば済む話なのですが、年度の会計処理の最終日である5月31日を過ぎていたため、修正が効きませんでした。

結果として、3月検針分の農業集落排水処理施設使用料2173万5千円が、「未納」として計上されることになり、使用料の収納率も本来の98%が、85%と低く計上されます。（実際には、市民から料金は収納されているので、損害にはなりません）

報告に対し、議員団からは

1. この事実をもっと早く市民、議会に知らせるべきだった。チェックすべき職員が、見逃してしまい、誤った決算書になったことは、問題がある。
2. 合併後、本件以外にも、課税・徴収上のミスや、議会を通さず処理したことなどが相次いでいるので、再度の確認、相互点検、体制の確保が必要である。
3. 事実経過や原因について決算書等に残すべきである。との指摘をしました。

3R活動とは、「3つのR」に取り組むことでごみを限りなく少なくし、ごみの焼却や埋立て処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）をつくろうとするものです。Reduce(リデュース)は、使用済みになったものを廃棄されることが少なくなるように、ものを製造・加工・販売すること。Reuse(リユース)は、ごみとして廃棄しないで再使用すること。(リサイクル)は、再使用ができずにまたは再使用された後に再生利用すること。

## 9月議会が始まります！

9月議会が4日から27日まで開催されます  
党議員団の一般質問日程です。

7日(木)	渡辺昌代(2番目)
8日(金)	石田利春(2番目) 平間益美(5番目)
11日(月)	杉野修(5番目)
15日(金)	総務財政市民常任委員会(渡辺)
19日(火)	福祉健康常任委員会(杉野)
20日(水)	建設上下水道常任委員会(石田)
21日(木)	教育環境常任委員会(平間)

是非、傍聴にいらして下さい。お待ちしております。

# 「済生会栗橋病院の移転問題」行政・議会・市民が力合わせて解決を！



現地存続が望まれている済生会栗橋病院

## 議会と済生会栗橋病院長 意見交換会開催

5月8日に開催された埼玉県済生会支部理事会は、済生会栗橋病院の一部機能を加須市に移転する案を決定。但し、最終決定は「1年以上かけ、2か所で経営する採算性などを検討し済生会中央本部が決定する」としています。このようなか、7月14日に議会と済生会栗橋病院長との「意見交換会」が開催されました。主な内容を報告します。

**問** マーケティングなど調査し、中央本部に示すとしているが、現状はどこまで進んでいるのか。  
**答** 現時点では何も示していない。  
**問** 加須市に移転したとしても、大きな借入金を抱え、済生会病院が経営困難に陥るのではと心配しているいかがか。

**答** 社会福祉法人である済生会病院は無料低額診療などに取組むことが義務付けられており、経営的に非常に厳しい。だから赤字で良いとは考えておられない。大変厳しいが、今年の4月〜6月は大幅改善して来ている。

**問** 資金があれば残っても良いとの考えを示されている。移転せずに現在地において継続するためにはどのような条件が整えば残ることができるのか。久喜市はどうすれば良いのか。例として財政規模をいくら出せば可能なのか。  
**答** 久喜市は「あり方」の中で、具体的には何も表明がなかった。のでこれからというのは大変難しく、難しいものと考えている。

**問** 加須市移転を中止し、現地での病棟新築はもうないのか。  
**答** この時点で加須市への一部機能移転を中止することはない。現在地で急性期病棟建設するとなれば、新たな増床を整備することになると考えている。

**代表者会議で議員団は3点を提案**  
◆議会として現状認識の共有化をはかること。  
◆決議の具現化に向け「戦略の構築」をおこなうこと。  
◆こうした協議を進めながら、行政とも連携をはかること。

### 議会の対応は

議会として何ができるか、議長と代表者で協議し進めていくことが確認されました。

## 久喜市の政務活動費はどうなっているか

「政務活動費」の不正使用に関するニュースが取り上げられ、議会や議員に対する信頼が損なわれているのではと心配されます。このような中、久喜市議会における政務活動費の取り扱いはどのように進めているか報告します。

### 政務活動費は個人でなく会派の口座に

久喜市議会では、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他必要な経費の一部として政務活動費が一人当たり毎月3万円、各会派に支払われます。

使用できる範囲は条例で定められ、使用した分は1円からの領収書を貼付し、各会派の経理責任者は「収支報告書」を3ヶ月毎に議長に提出します。年度末に使用残余があれば返還することになります。

### 監査は3段階で実施しています

- ①会派の経理責任者が、他の会派の使用について使用範囲、規定に基づき正しく使われているか、領収書や貼付書類などチェックします。おかしいと思ったところにはシールを貼りその理由を明らかにして全員で是正に努めています。シールは毎回10枚近く貼られます。
- ②外部の会計事務所に監査を受けます。会派毎に問題があれば指摘を受け修正します。
- ③久喜市の内部監査を受けます。通帳や現金出納帳など提出する場合があります。

## 2017年度から久喜市のホームページに公開

市民の皆さんの大切な税金です。不正使用を防止するためには「情報公開」が不可欠です。久喜市議会では、2017年度分から政務活動費をホームページに公開するため「政務活動費情報公開検討委員会」を設置し、領収書に記載が必要な項目など検討を重ねて来しました。領収書に関する「確認事項」は29項目に及びます。この内容が8月21日の代表者会議に置いて承認されました。監査などの関係から第一期分が9月中には公開される予定です。

### 市民目線でのチェックをお願いします

議会は、市民の疑問に精一杯応えようとして対応しているつもりですが、これで「万全」と言い切れるものではありません。市民皆さんの「チェック機能」が重要です。ご意見をお寄せ下さい。

### 原本を是非一度ご覧下さい どなたでも閲覧できます

原本が議会事務局(久喜市役所5階)に保管され、閲覧できます。

どんなものか是非一度閲覧して見て下さい。

### 日本共産党久喜市議団 政務活動費 2016年度(平成28年度)の報告

		第1期 (4-6月)	第2期 (7-9月)	第3期 (10-12月)	第4期 (1-3月)	合計
収入	交付額	360,000	360,000	360,000	360,000	1,440,000
	調査研究費	0	0	53,069	33,696	86,765
支出	研修費	0	210,340	1,000	0	211,340
	広報費	217,765	113,464	169,069	312,862	813,160
	資料購入費	56,508	11,108	0円	116,788	184,404
	支出合計	274,273	334,912	223,705	461,346	1,294,236
	繰越額	85,727	110,815	247,110	145,764	145,764

145,764円返還となりました。